

函大柏稜サヨナラ勝ち

決定戦進出 函商、函大有斗も

夏の高校野球予選

函館支部

第4日の28日、AブロックとBブロックの準決勝計3試合を行った。函大柏稜は函稜北に2-1でサヨナラ勝ち。函商は大野農・八

雲・南茅部の3校連合チームを11-3の七回コールドで下し、函大有斗は奥尻に8-1の八回コールドで勝利した。

函大柏稜は六回1死三塁、7番奥本の適時打で同点とした後、九回一塁の場



〔函商―大八南連合〕六回一、二塁、斉藤の投前バントで三塁封殺を狙った送球がそれる間に、三塁に滑り込む函商の二走高橋(小葉松隆撮影)

◇函館支部

(函館オーシャンスタジアム)

<Aブロック>

函大柏稜	2-1
函稜北	4-2
函高専	30日9:00
函商水	5-2
函大野農・八雲・南茅部	11-3

<Bブロック>

函大有斗	8-1
江差・上ノ国	11-7
奥尻	30日11:30
知内	9-2
檜山北	29日9:00
函西	

<Cブロック>

函七	工飯	29日11:30
函中	部	11-0
函大	谷	30日14:00
函ラサ	ル	7-0
函市	函館	29日14:00

試合結果は「どうしん電子版」とスマートフォン・携帯電話の有料サイト「道新&道スポ」でお伝えします。道高野連のホームページでも速報しています。

面で、1番笹浪の適時三塁打で試合を決めた。函稜北は六回1死満塁、7番江田のスクイズで先制したが、逃げ切れなかった。

函商は三回、先頭中川の二塁打を口火に、6安打を放ち一気に6点を挙げた。六回は、打者一巡で4得点を挙げ、突き放した。大八南連合は三回、3番松井の右中間への二塁打や敵失で3点を挙げたが、その後は得点できなかった。

函大有斗は五回、8番中村来からの3連打などで4得点。六回に藤根が適時二塁打を放ち、差を広げた。奥尻は初回、4番満島の右前安打で1点先制するが、及ばなかった。(和田樹)

▽Aブロック準決勝

函稜北	000000100010
函大柏稜	000000110001X0
(後)宮地	000000110001X0
(相)松庭	000000110001X0
▽三塁打	齊藤(穂)松井、奈良、笹浪(也)
▽二塁打	薬師寺(穂)松庭、奥本

函商

0006000401311
00030000000000

大野農・八雲・南茅部 (七回コールドゲーム)

(有)中川、宮地、齊藤、高橋一三、崎凌

(有)浜林、松井、井高

▽二塁打 中川、山口、西田、高橋(商)井筒、松井(大)

▽Bブロック準決勝

奥尻	000000000000
函大有斗	00010042001X81

(八回コールドゲーム)

(有)高田、横山

(有)藤沢、工藤雅、本田

▽三塁打 中村来、藤根(有)

▽二塁打 藤根2、北越、中村倫(有)

▽フライバルに一矢報いる 函稜北の主将薬師寺(3年)は二塁打は両者無得点の六回表、二塁打を放ち、先制の流れをつくった。相手投手は小中学校の同級生で、練習試合では打てなかったフライバル。直球を左方向に打ち返し「今回は絶対に打つ」との思いだったと振り返った。

春季支部予選後、低い打球が打てるようスイングを改善し、成果が出た。チームは同支部予選後、自分たちで考えた練習メニューに取り組み、この日は終盤まで互角の戦いを進めた。最後はサヨナラ負けを喫したが、「強豪校相手に、接戦に持ち込めた。3年間の野球人生で最高の試合」と収穫を胸にグラウンドを後にした。



函大柏稜の主将薬師寺(3年)